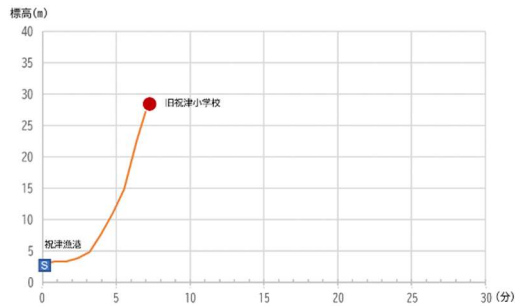


祝津 — ルートb (祝津漁港北側⇒旧祝津小学校)



祝津エリアはおたる水族館、鯨御殿、ニシン番屋などの観光資源やマリナーのある漁師町。ニシン漁の頃の祝津漁港を訪ねるルートをご紹介します。漁港を見下ろせる旧祝津小学校を目指す。



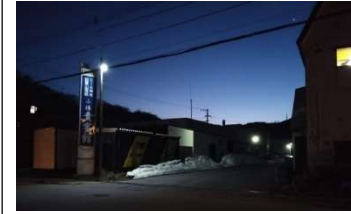
※グラフに表示した標高は国土院の標高データを使用していますが、地形により5m以内、10m以内、500m四方のエリアの代表的な数値を示したものであり、ルート上の正確な標高とは異なる場合があります。標高精度は0.3m以内〜5m以内です。※グラフに表示した歩行時間は、許容者が早歩きまでではないか、通常よりわずかに早い速度を意識して歩いた際に要した時間であり、その歩行速度は一定ではありません。

1



漁港には漁船の灯り。早朝は暗い足元を照らすライトを持参した方が良い。

2



小樽貴賓館の看板を右に曲がる。

3



明るければこんな感じ。

4



住宅の間を抜け、緩やかな坂を上がると、旧祝津小学校。この日は何かのイベントで灯りが点いていた

5



昼だとこんな感じに見えるはず。

6



振り返ると、祝津漁港の灯台が見えるはずだが、夜は漁船の灯りしか見えない。(写真省略)

7



ちなみに、旧祝津小学校前の道はきれいに除雪されている訳ではなく、雪が溶け終わるまでは、長靴の着用がお勧め。

8



足跡情報によると、この日、ここを通ったのはキツネと自分だけのよう。祝津漁港から旧祝津小学校まで約7分。キツネと一緒にパトロールしている気分が味わえるルートだ。